令和5年度の教育施策の方向性

資料2

津市架け橋プログラムの実施

◆特化研究プロジェクトにおけるモデル小学校区（3小学校区）による「津市架け橋期カリキュラム」の実施・検証

◆幼児教育アドバイザー、架け橋サポーター（仮称）等による支援の充実（人事協議中）

◆ 公私立幼保小合同研修等の充実

◆ PTA連合会と連携した発信

コミュニティ・スクール

◆学校運営協議会と地域学校協働本部の連携体制の構築

・先進校の取組事例の発信・共有
・管理職等対象の研修会の充実
・公民館等既存組織の活用
・地域コーディネーターの養成及び資質向上

◆家庭や地域、及び市民に向けた発信

・広報誌、新聞、ホームﾍﾟｰｼﾞ等

GIGAスクール構想の実現及びICTの効果的な活用

◆個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実（特化研究プロジェクトにおけるモデル校20校）

・自己肯定感、自己有用感を高める取組

◆授業と家庭学習の連動

・家庭学習マニュアルの作成・配布
・準要保護家庭への通信費適用予定
・端末破損等トラブルへの対応

◆デジタル教材の効果的活用

・大型テレビの整備等

さまざまな教育課題等

▶部活動への取組

・部活動地域移行の取組
・地域人材の活用（部活動指導員の各中学校1名配置、計20名を要望等）
・働き方改革を踏まえた取組
・ 保護者、地域等への情報発信

▶教職員への支援

・ スクール・サポート・スタッフ
（R4年度：のべ87人を69校に配置）
国や県に対して、配置の継続・拡大を要望

・教員支援員（R4年度：10人を20校に配置）の配置校拡大を検討（人事協議中）
・定年引上げに伴う今後の配置を検討

▶三重大学・津市子ども教育センター（仮称） 令和5年4月開設予定

・ 多様なニーズに対応する支援・指導の充実
・ 研修会の実施等による教職員の専門性の向上及び人材育成

▶給食の物価高騰等への対応（予算協議中）

・ 物価高騰等による給食会計への影響を注視しながら、引き続き検討
給食 6・12月補正（3,620万円）
就学援助 12月補正（4,456万円）

▶教育環境の整備（予算協議中）

・ 第2期津市学校施設長寿命化計画に基づいた改修工事を推進

▶子どもたちへ水泳授業の機会の確保（予算協議中）

・ 民間プールのほか、公用プールの活用や学校プールの共用化も併せて検討

▶放課後児童クラブ（予算協議中）

・ 施設の狭あい化・老朽化の状況を把握したうえで、津市公共施設等総合管理計画に基づいた計画的な施設整備の推進
・ 放課後児童クラブの支援
82クラブ（公設民営59、民設民営23）
当初予算額 95,748万円

（令和4年4月1日現在）